

C・H様

年齢 79歳
性別 男性
職業 建設会社の元経営者
趣味 盆栽
やりたい事 自宅に帰りたい
既往歴 脊髄梗塞、対麻痺、
陳旧性心筋梗塞、
慢性下痢症
疾患名 仙骨部褥瘡
医療処置 膀胱留置カテーテル管理、
褥瘡処置
排便コントロール(下剤調整、摘便)



入居経緯

令和4年8月、心筋梗塞による心破裂の
治療目的でA病院、B病院、C病院に入院。
その間、脊髄梗塞発症、仙骨部褥瘡を
発症し、令和5年1月よりD施設での生活
が始まった。以降2施設を経て、褥瘡処置
目的で令和5年6月に当施設へ入居した。

～仙骨部の褥瘡の経過～

令和5年7月



令和6年5月



10か月後

ケア内容

入居当初は浸出液の量が多いこと、仙骨部褥瘡の
ポケット内に便が入り込むことなどから、週2回の入
浴サービスを継続しながら1日3回の創部洗浄処置を
実施。創縁のスキントラブルがないよう処置の都度
スキンケアを丁寧に行った。マットレスはケアマネ
ジャーからのご提案により”こちあ利楽”を選択
し福祉用具貸与で常時除圧対策を行っていた。

1日3回の食事時は車椅子移乗時に摩擦が起きない
よう離床介助し、車椅子乗車時の座面角度がほぼ90
度になるよう姿勢保持と除圧を工夫した。栄養に関
しては1400kcal/日の食事提供に加え、訪問診療医師
より処方されたエネーボ(1缶/日300kcal)摂取を毎
日継続していた。そのほか持ち込み食を自由に嗜好
品を取り入れることで、摂取量不足を最小限にお
さえることができた。

褥瘡の状態をDESIGN-R2020で比較したところ、次
のような経過が見られた。令和5年7月時点では、
D4E6s8I3c93n0P24=45点、皮膚欠損部40mm×50mm、
ポケット込103mm×60mmであり、入居3か月後にさら
なる縮小を目指すため、陰圧閉鎖療法目的で約1か月
間A病院へ入院。退院後のサイズは皮膚欠損部20mm
×30mm、ポケットは依然深く50mm×40mmであった。
1日2回をベースに、便汚染の頻度に合わせて創部の
洗浄処置を都度行った。

10か月後の令和6年5月には、D4e3s3i093n0P6=15
点皮膚欠損部20mm×8mm、ポケット込40mm×20mmま
で改善した。

C・H様の個別的な要望に対し、可能な範囲で柔軟
に対応しながら介入し、医師・ケアマネジャー・訪
問看護師・理学療法士・訪問介護・福祉用具事業
所・ご家族との積極的な連携により、C・H様の希望
の場所である自宅へ戻るための支援が出来た。

平均請求額 120,944円/月

訪問介護の介護保険自己負担
訪問看護の医療保険自己負担分
訪問理容費立て替え込み



宮城県石巻圏域初／
医療ケア対応型ホーム
「SUN SUN ISLAND 石巻」

お申込み/お問合わせ
022-355-4660(10～17時)
080-3326-0133(直通)
〒986-0824 宮城県石巻市立町2丁目6-12

相談会への1分簡単申込

